

支 援 事 業  
報 告 集



愛芸アシスト基金

**2017**  
年度

## 平成29年度 愛芸アシスト基金 支援事業日程表



ご賛同いただいた皆様へ

日頃は、愛芸アシスト基金にご支援を賜りありがとうございます。また本学の展覧会や演奏会にご足労をいただき、心より御礼を申し上げます。皆様の心あたたまご理解とご厚意に深く感謝いたします。

本学は、半世紀にわたって地域における芸術・文化の創造活動の拠点になることを目指してきました。おかげをもちまして、美術・音楽両分野より芸術家・研究者・教育者を日本のみならず、世界で活躍する卒業生を輩出しております。

これもひとえに、県民の皆様、地域の皆様、そして何より愛芸アシスト基金にご賛同をいただいております皆様のおかげです。

本学はこれからも皆様のご支援の元、芸術文化を担う人材育成の為、芸術教育・芸術活動で社会に貢献する大学を目指す所存です。また、地域の皆様に愛される大学になるよう一層の努力をしてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

愛知県立芸術大学 学長 白木 彰

### 01 オペラ公演《ヘンゼルとグレーテル》

平成29年12月9日(土)、10日(日)  
長久手市文化の家

平成29年12月16日(土)  
パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)

### 02 愛・知・芸術のもりから

平成29年7月～平成30年3月 計6回  
SMBCパーク栄

### 03 収蔵品展

平成29年5月16日(火)～6月7日(水)  
愛知県立芸術大学 芸術資料館

### 04 愛知県立芸術大学サテライトギャラリーでの展覧会支援

平成29年4月～平成29年8月 展覧会開催回数:6回  
愛知県立芸術大学 サテライトギャラリー

### 05 学生企画の支援

平成29年4月～平成30年3月  
4件(美術学部・美術研究科2件、音楽学部・音楽研究科2件)

### 06 美術館入館料

平成29年4月～平成30年3月  
名古屋市美術館、愛知県陶磁美術館

## 01 オペラ公演《ヘンゼルとグレーテル》



平成29年度の大学オペラ公演は、長久手市文化の家とパティオ池鯉鮒(知立市文化会館)において5年ぶりとなるフンパーディング《ヘンゼルとグレーテル》を皆様にご覧頂きました。客席では子どもと一緒に観劇された方が多かったのが印象的です。

舞台上は現代の、人間が住む町の片隅の光景。普段我々が目にする、乾電池やジュース缶のようなゴミ、大きいブロックの狭間で(今回は子ねずみという設定の)ヘンゼルとグレーテルらがはしゃいでいる...そう、ミニチュアの世界を再現した舞台が秀逸でした。

また、懸命に歌い、踊り、演ずるキャストや合唱、大編成の豊かな響きを奏でるオーケストラ、いずれも音楽と美術の二つの学部を擁する本学ならではの大学オペラ公演となりました。

平成30年度の大学オペラはマスネの《シンデレラ》(サンドリヨン)を再演します。今後も大学オペラの応援、変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

初鹿野 剛 (オペラ制作責任者)



## 02 愛・知・芸術のもりから



「愛・知・芸術のもりから」は、愛芸アシスト基金のご支援のもと、平成29年度で8年目を迎えることができました。名古屋の中心に位置するSMBCパーク栄でのこのレクチャーコンサートは、各専攻・コースから選ばれた優秀な本学卒業生・修了生たちが音楽を発信する舞台となっています。若い彼らは、すでに各地で活躍している魅力ある演奏家たちばかりですが、このコンサートは、彼らの飛躍のきっかけとなると

もに愛知芸大の素晴らしさを広く知っていただける絶好の機会となっております。

平成29年度は、ピアノ、声楽、弦楽器、管打楽器の卒業生・修了生から計6グループが出演しましたが、毎回満席に近いお客様にお楽しみいただきました。今後とも皆様の温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

福本 泰之（音楽学部長兼研究科長）

## 03 収蔵品展



愛知県立芸術大学では、開学以来「教育に資すること」を目的とし、数多くの優れた作品を収集してきました。平成29年度は前年にドローイングや立体作品を収集した彫刻家、若林奮（1936－2003）と倉澤實（1934－2011）をはじめ、作家たちのドローイング、習作、個人で収集していたものなどを作家の頭の中をのぞくような作品と捉え、新たな創作の世界を展観する「創作の裏側：新収蔵品を中心に」を開催しました。

美術や音楽、あらゆる創作の裏側で作家たちは、思索や葛藤を作品に昇華するための行為として、ドローイングや習作、スケッチなどを制作します。これらは通常、人の目に触れるために作られるわけではなく、自分自身の内側との対峙によって生み出されたイメージを具現化したもので、ドローイングから作家が何を考え、何を目指していたのかを紐解く

ことを意図した展示となり、会期中は多くの方にご来場をいただきました。

また、関連芸術講座として美術家井上尚子と作曲家寺井尚行による「美術×音楽 裏側さんぽ」が開講され、さまざまな「香り」を集めながら学内をめぐり、普段意識していない五感を刺激し再認識する内容で、大変盛況な講座となりました。

愛芸アシスト基金会員の皆様には、芸術資料館収蔵品展にご支援いただき、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

今後も、本学のコレクションを中心として、魅力ある展覧会を開催しますので、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

倉地 久（芸術資料館長）



## 04 愛知県立芸術大学サテライトギャラリーでの展覧会支援



### サテライトギャラリーにおける展覧会支援

愛知県立芸術大学は、栄町商店街振興組合のご協力の下、平成22年5月、栄にサテライトギャラリーを開設いたしました。

平成29年度は、本学出身の若手作家によるインスタレーション、研究室主催の企画展、国際交流事業で本学に招聘したニューヨーク在住の彫刻家・家具作家との交流展をはじめとする6件の展覧会と出展作家によるギャラリートークを2件開催し、多くの来場者にご鑑賞いただきました。

愛芸アシスト基金会員の皆様には、サテライトギャラリーでの展覧会の運営にご支援いただき、滞りなく展覧会を開催できましたことを芸術資料館長として心より感謝申し上げます。

サテライトギャラリーは昨年8月をもって、一旦閉廊いたしました。新たな展開を計画していますので、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

倉地 久(芸術資料館長)

### 新サテライトギャラリー

平成22年よりみなさまに親しんでいただきました中央広小路ビル3階(名古屋市中区錦3-21-18)の愛知県立芸術大学サテライトギャラリーは、平成29年8月13日(日)をもちまして閉廊させていただきました。

長い間ご支援をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、新しいサテライトギャラリーの開設を計画しております。準備が整いましたら、皆様にもお知らせいたします。

新サテライトギャラリーでは、本学の教員や学生を主体とした展覧会や講演会、ワークショップなどを開催し、大学の新しい情報発信の場として広く一般に公開するとともに、地域と連携して愛知の芸術活動を盛り上げていきますので、今後ともご支援の程、宜しくお願いいたします。

倉地 久(芸術資料館長)



## 05 学生企画の支援



事業名：愛知県立芸術大学打楽器専攻生による第17回定期演奏会 打のとき

報告者：菅 早苗(音楽学部 器楽専攻 管打楽器コース)

毎年度、本学打楽器研究室が1年かけて作り上げる「打のとき」。

今年は様々な国の作曲家たちの手により書かれたオリジナルの打楽器アンサンブル曲を取り上げ、練習に取り組んで参りました。

今回のメインには、日本人の作曲家、福士則夫の「海流」を取り上げましたが、この曲はなかなか演奏機会がなく、また、愛芸大の楽器が豊富に揃った環境でしか出来ない1曲となりました。

愛芸アシスト基金のご支援や、本学の先生方のご指導など、多くの人の助けに支えられて、無事本番を迎え公演はた

くさんのお客様にご来場いただき、成功を収めることができました。

今年度で17回目となった「打のとき」ですが、管打楽器コースの中でも一番回を重ね、その伝統とクオリティを受け継いでいます。

運営、演奏を全て学生が取り仕切り、作り上げる機会を学生のうちに持てたこと、学べたことに感謝します。

これからも、より多くのお客様に満足して頂けるよう充実した演奏会を目指して参ります。愛芸アシスト基金からのご支援により、無事演奏会を行えたことを深く感謝します。



事業名：～愛知県立芸術大学サクソフーン専攻生による～ SAXIDENT!! vol.10

報告者：深井 蓉子(音楽学部 器楽専攻 管打楽器コース)

私たちサクソフーン専攻生が毎年開催している演奏会『SAXIDENT!!』は、2018年3月7日に第10回目となる公演を迎えました。

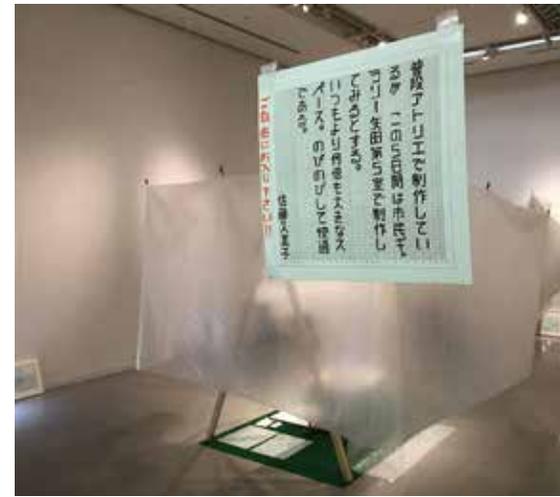
今回は10周年という節目を記念し、非常勤講師である田中靖人先生に加え、『SAXIDENT!!』の立ち上げから現在に至るまでバトンを繋いで下さったOB・OGの先輩方をお迎えし、総勢20名でメイン曲目『Highlights from "Porgy and Bess"』(編曲:平岡聖さん)、そして最後にはピアニストの原田実和子さんもお迎えし、アンコール曲として『I Got Rhythm!!』(編曲:平岡聖さん)を演奏しました。卒業生を出演者として招くことは初めての試みでしたが、共にステージを創り上げる中で学んだことは非常に多く、私たちが在学生

にとって大変有意義な経験となりました。

他にも、在学生全員によるオープニングアンサンブル『序曲「祝典」』の編曲者である芳賀傑さん、10周年を記念したフライヤーやロゴのデザインを担当して下さいました森一浩さん等、多くの方のご尽力により演奏会を盛況のうちに終わることができました。今回、こうして例年よりも大規模な演奏会を開催できたことは、愛芸アシスト基金によるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後もサクソフーンの魅力をより多くの方々にお伝えできるよう、専攻生一同精進して参りますので、私たちの活動にご注目いただけましたら幸いです。





**事業名：愛知県立芸術大学夏季作品展2017 -発信する森-**  
**報告者：下村 菜由(美術学部 油画専攻)**

愛知芸大という広大な土地を活かして長久手市民をはじめとするより多くの人に私たちの芸術活動を知ってほしいという思いから今年発足した〈LIBERAL〉の企画第一弾となる展示を2017年7月24日から8月4日まで愛知芸大内で開催しました。

LIBERALのメンバーは、本展示会の企画をはじめとし、開催するにあたってのポスターや展示マップ等のデザイン・作成、愛知県の高校や長久手市内の施設へのDM 配布、安全に展示を行うための学務課や施設整備課の方々との連携といった一連の準備や運営のため4月から活動を始めました。

実際に旧音楽棟を自分たちで清掃し展示場所にしたり、

音楽学部棟ピロティなどを新しく展示場所として使用したりすることで学内を展示空間として活かせることが分かりました。また、オープンキャンパスに開催期間を合わせたことで高校生などの外部の人にも愛知芸大生の活動を発信する機会を作れたと感じています。

今回の展示は、愛芸アシスト基金のご支援や32組の出展者の方、助言をくださった先生方や親身になって対応くださった学務課や施設整備課の方など多くの方の助けにより無事開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

今後も愛知芸大を発信していくため、学内展示にとどまらず地域連携も視野に入れながら活動を続けていきます。

**事業名：5日間移動計画**  
**報告者：佐藤 久美子(美術学部 油画専攻)**

今回、愛芸アシスト基金のご支援により、市民ギャラリー矢田にて個展を開催することができました。

普段、作品の完成形態や、見せ方など、自分の作品について今の状態がベストなのか分からなくなっていました。美術館のように作品が綺麗に展示され、そこに説明文があり鑑賞者はそれを見て理解する。このような一般的な展示方法ではなく、もっと自分の作品をベストに見せる方法があるのではないかと考えていました。

そこで、今回の展示では作品を飾るという一般的な展示ではなく、展示場で作品を制作し、アトリエとして使っている状態の空間を見てもらう展示方法に挑戦しました。

実際にアトリエで使っている道具やモノ、飾っている私物などを持ち込み、展示期間中、毎日制作しました。

いつも通り制作していても、普段のアトリエよりも広く、光の感じ方も違うので、作品の見え方や、思いつく発想が変わりとても刺激的でした。

展示を終え、見に来てくれた方ともいろいろ話をすることができ、改めて考えさせられる事がありました。そして新しい発見もあり良い経験となりました。自分の作品を見つめなおし、今後さらに発展し制作に取り組んでいきたいと思えます。





名古屋市美術館



愛知県陶磁美術館

平成29年度は、大学が「名古屋市美術館の学生メンバーズ制度」「愛知県陶磁美術館大学等パートナーシップ」に加入したことに伴い、愛芸アシスト基金で事業の支援を行いました。

名古屋市美術館、愛知県陶磁美術館への学生・教職員入館料の助成を始め、学生・教職員を含め名古屋市美術館は230名、愛知県陶磁美術館は122名が利用しました。学生・教職員の教育研究に大きく貢献しました。

(愛芸アシスト基金事務局)

※愛芸アシスト会員様向けの事業ではございません。  
あしからずご了承ください。

#### 01 オペラ公演 歌劇《シンデレラ》(サンドリヨン) 支援額:200万円

平成30年12月8日(土)、9日(日)に長久手市文化の家、12月15日(土)にパティオ池鯉鮒(知立市文化会館)にて、歌劇《シンデレラ》(サンドリヨン)を公演します。

今年も、美術・音楽学部を兼ね備えた総合芸術大学の魅力をお楽しみください。

#### 02 愛・知・芸術のもりから 支援額:30万円

SMBCパーク栄にて、本学のOB・OGの演奏をお楽しみいただきます。

名古屋市の中心で、若い熱気と活気に満ちた演奏をご期待ください。

#### 03 愛知県立芸術大学サテライトギャラリーオープン準備 支援額:180万円

新サテライトギャラリーのオープンに向け、準備を進めております。

#### 04 学生企画の支援 支援額:60万円

今年度も、学生が企画した優れた展覧会・演奏会に支援をします。

#### 05 「芸術祭」での講演会 支援額:10万円

平成30年11月2日(金)～4日(日)で行われます「芸術祭」に、芸術祭実行委員会から学外者へ講演を依頼します。

本学OB・OGはじめ、国内外で活躍する作家・アーティストに講演いただく機会に支援します。

#### 06 芸術資料館収蔵品展 支援額:20万円

本学の収蔵品からデザインに関連する作品および新収蔵品の版画作品を展示します。

#### 07 障害者向けアウトリーチ事業の推進 支援額:30万円

愛知県と連携した、障害を持った方達と一緒に楽しむ芸術体験を行う事業に支援をします。

#### 08 障害者福祉支援事業としての陶芸アート 支援額:40万円

愛知県と連携した、障害者の陶芸創作活動を指導・支援する事業に支援をします。

あいちアール・ブリュット展に展示する計画です。